

I. 平成22年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9月)

1. 概況

本市の中心市街地活性化基本計画(以下「計画」という。)が認定されてから2年9か月が経過したが、計画に位置付けられた事業は、「盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業」及び「バスセンター周辺地区再整備事業」が事業内容の見直しにより進捗が遅れているほか、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」の実施主体が、平成23年3月30日に民事再生法の申請を行い、今後の事業展開が不透明になるなど、計画遂行に課題が生じているが、その他の事業については概ね順調に実施されており、65事業中、5事業が完了、ソフト事業など41事業が実施中、19事業が未完了(うち未着手等8事業)となっている。計画区域では、本年度、新たな大規模小売店舗やマンションの立地はなく、平成22年2月に閉店した大通地区の電気店など比較的大きな空き店舗は依然未利用のままであり、本年5月末には中ノ橋通から、11月末には大通から若者の来街を誘引していたファストフード店が撤退している。また、3月11日に発生した東日本大震災に起因した事故により、中心市街地の百貨店が閉店したままとなっており、再開のめどは立っていない。毎年2月下旬に実施している空き店舗調査による中心市街地の空き店舗数は減少(平成21年度:82店、平成22年度:72店)しているものの、今後計画区域外に大規模小売店舗が3店出店を予定しているなど、中心市街地活性化への影響が危惧されている。

このように中心市街地を取り巻く状況は厳しいものがあるが、「空き店舗活用促進事業」による出店支援策の実施(平成20年度:6店、平成21年度:3店、平成22年度:9店)や平成21年10月にオープンしたクロステラス盛岡の「盛岡スクエア事業」への参加による、大通・菜園地区の面的な賑わいの創出活動、各商店街も新たなイベントを企画するなどして中心市街地の活性化にむけた活動を行っており、市も当該計画を補完する「まちなか・おでかけパス事業」や「ゆかたのまち盛岡推進事業」、ふるさと雇用再生特別基金事業などを活用した「中心市街地商店街魅力向上事業」や「城下町もりおかにぎわい再生事業」、「音楽を活用した若者による中心市街地活性化事業」など高齢者や若者を中心市街地へ誘引するソフト事業も展開し、当該計画の着実な実施と併せ、中心市街地の活性化に努めている。

2. 目標達成の見通し

目標	目指標	基準値	目値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
賑わいあふれる中心市街地	中心市街地の小売年間販売額	816億 5,900 万円 (H19)	869億 3,900 万円 (H24)	725億 7,500 万円 (H21)	③	④
	中心市街地の歩行者・自転車通行量	50,260 人 (H19)	51,000 人 (H25)	48,822 人 (H23)	③	③

訪れたい中心市街地	盛岡市街の 観光客入込 数	365万 人 (H19)	372万 人 (H24)	357万 人 (H22)	①	①
-----------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---	---

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

(1) 中心市街地の小売年間販売額

平成21年10月に完了した「大通三丁目地区再開発ビル建設事業(クロステラス盛岡)」は、計画で想定していた以上の入店者数があり、周辺地区への人の流れを創りだしているが、小売販売額にあっては、景気の低迷により市内全域で小売販売額が低下している状況もあり、計画で想定していたとおりの効果の達成までには至っていない状況である。また、「バスセンター周辺地区再整備事業」は、居住機能導入の見送りなど事業内容の見直しを行っており、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」は、実施主体が民事再生法の適用を申請し、今後の事業展開が不透明であるなど、計画で想定したとおりの効果が見込めない状況であり、このままでは目標達成は困難であるため、その他の基本計画に位置づけられた当該目標に資する事業の効果の底上げを図るとともに追加事業を検討・実施していくなど、今後対策を講じていく必要がある。

(2) 中心市街地の歩行者・自転車通行量

平成21年6月に完了した「盛岡駅東西自由通路整備事業」及び同年10月に完了した「大通三丁目地区再開発ビル建設事業(クロステラス盛岡)」により、周辺の歩行者・自転車通行量は、2,826人(平成21年と平成23年(参考値)の比較(以下同じ。):計画200人)増加している。また、クロステラス盛岡と大通商店街、カワトク、MOSSなどの大型店との連携による賑わいの創出活動も活発化しており、平成23年7月には、大通商店街と河南地区の中間に位置する「もりおか歴史文化館(歴史文化施設整備事業)」が完成することにより、大通地区や河南地区への観光客等の回遊による歩行者の増加も見込まれる。

「中ノ橋通一丁目プロジェクト」は、実施主体が民事再生法の適用を申請しており、再建計画の内容により事業の大幅な見直し等が想定されるが、平成22年と平成23年の周辺の歩行者・自転車通行量の比較では、マイナス502人の減少に留まっており、可能な限り当該事業の推進を支援していくほか、その他の当該目標指標値に寄与する事業を確実に推進していくことで目標達成は可能であると見込まれる。

(3) 盛岡市街への観光客入込数

平成15年以降観光客入込数は逡増傾向にあったが、長引く景気の低迷などにより、平成21年、22年は対前年比1.7%(6万人)マイナスとなっており、また、東日本大震災の影響により、鉄道など交通機関が復旧しておらず、観光客の減少が危惧されるが、引き続き主要都市における盛岡デー等による盛岡ブランドの情報発信、さんさ踊りなどの祭り等のイベント及びコンベンションの誘致等に取り組むほか、平成23年7月に開館予定である「もりおか歴史文化館(歴史文化施設整備事業)」による観光客誘引効果や平成24年にJRが企画している岩手県を対象としたゲストイネーションキャンペーン、NHK連続テレビ小説「どんど晴れ」の続編放映の決定などの好機も活かすことで目標達成は可能であると見込まれる。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

全国的に景気の低迷が続いており、岩手県においても大型店を含めた小売店舗の販売額は平成19年以降対前年比マイナスの状況が続き、本市もこれに準じた状況となっている。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響で生産、流通、販売、消費などの経済活動が停滞しており、従前の状況に戻るには相応の期間が必要となっている。

このような経済情勢を背景として、民間の施設整備事業である「バスセンター周辺地区再整備事業」は事業内容の見直しが行われており、当初想定していた居住機能などの導入を見送る方向性は打ち出されているが事業化には至っておらず、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」は大幅な事業内容の見直しが見込まれるため、計画で想定している効果が得られない可能性が生じていることから、「中心市街地の小売年間販売額」の見通しを③から④に変更した。

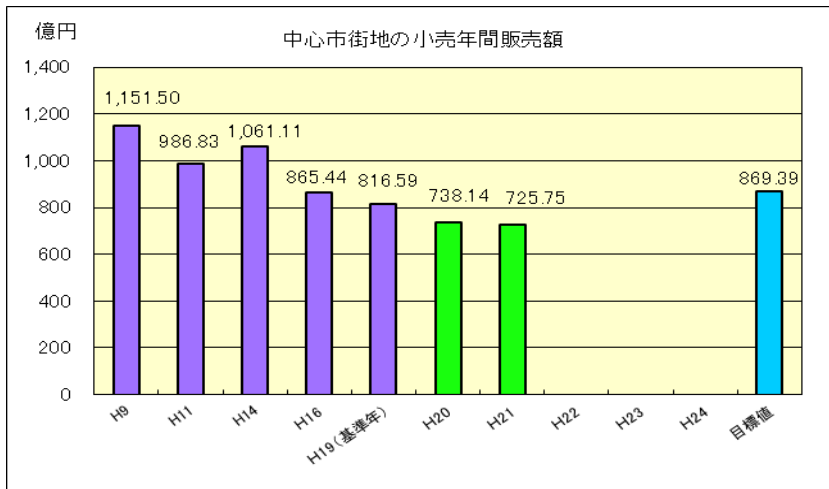
5. 今後の対策

見直しを行っている事業の早期事業化に向けた支援を重点的に行うとともに、計画に位置付けられた事業を着実に実施するほか、当該計画を補完する中心市街地の活性化に向けたソフト事業を推進する。また、盛岡を舞台としたNHK連続テレビ小説「どんど晴れ」の続編放映や岩手県を対象としたJRのデスティネーションキャンペーンの実施が決定していることから、これと連携した新たな事業の検討や既存事業の効果の底上げを図る。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「賑わいあふれる中心市街地」

「中心市街地の小売年間販売額」※目標設定の考え方基本計画 P67～P72 参照

1. 調査結果の推移



年	(億円)
H19	816.59 (基準年値)
H20	738.14
H21	725.75
H22	
H23	
H24	
H24	869.39 (目標値)

※調査方法；平成 16 年商業統計調査の実数に、大型店及び商店街組合から聴取した状況で補正した推計値

※調査月；平成 16 年 6 月時点調査（商業統計調査）、盛岡市独自調査 毎年度 5 月実施、6 月取りまとめ

（前年度分（4 月～翌年 3 月分。ただし、大型店は各店舗の該当決算期分）の年間小売販売額等を調査）

※調査主体；商業統計調査を基に盛岡市の独自調査により補正し、盛岡市が推計

※調査対象；中心市街地の小売業者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 大通三丁目地区再開発ビル建設事業（三田農林株式会社）

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	従前平面駐車場であった区域に、1, 2 階を商業施設、3～5 階を自走式立体駐車場とした、郊外型と異なる周辺への回遊性が高い施設を整備。
事業効果又は進捗状況	平成 21 年 10 月にクロステラス盛岡としてオープン。計画で想定していた入店者数(2,500 人/日)を超える集客があり、周辺の歩行者・自転車通行量が 2,826 人増加(計画 200 人)するなどの効果が発現しているが、小売販売額においては、市全域での小売販売額の低下もあり、計画で想定した効果の達成までには至っていない。

②. 中ノ橋通一丁目プロジェクト（株式会社中三）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	老朽化した既存の百貨店を建て替え、商業施設と居住施設を配した複合ビルを整備。
事業効果又は進捗状況	昨年度は、専門家の助言を受けながら事業内容の見直しを行い、既存建物を有効活用する方向での事業化を検討した。本年度、その一環として 9 月には 4 階の一角に市の子育て支援施設が設置され、平成 23 年 3 月には 7 階に経済産業省の平成 22 年度地域商業活性化事業費補助金を活用したレンタルブースが設けられる予定だったが、実施主体の

民事再生法の申請により、事業内容の大幅な見直しが見込まれる。

③. バスセンター周辺地区再整備事業（盛岡市・盛岡まちづくり(株)他）

事完時期	【未】平成 24 年度
事業概要	敷地が手狭となっているバスセンターと周辺地を含めた敷地の共同化と高度利用による複合施設を整備。バスターミナル機能や共同住宅、ケアマンション、子育て支援施設及び店舗・飲食などの都市機能を導入。
事業効果又は進捗状況	専門家等の助言を受けながら事業内容の見直しを行っていたが、本年度に入り共同住宅やケアマンションなどの機能は見送り、現在と同規模程度の建物にバスターミナル機能と商業機能を導入する方向が示され、事業化に向けた検討を行っている。

④. 空き店舗活用促進事業（盛岡市）

事完了時	【実施中】平成 24 年度
事概要	中心市街地の商店街にある空き店舗への出店にあたり、店舗の内装、外装、給排水設備、電気設備等の改装工事を行う場合、その改装工事費の一部を補助する。（対象経費の2分の1、限度額 30 万円）
事業効果又は進捗状況	平成 20～22 年度の間で当該事業を活用した出店は 14 店あり、全店舗合計で約 2 億 5 千万円の販売額増加が見込まれている。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

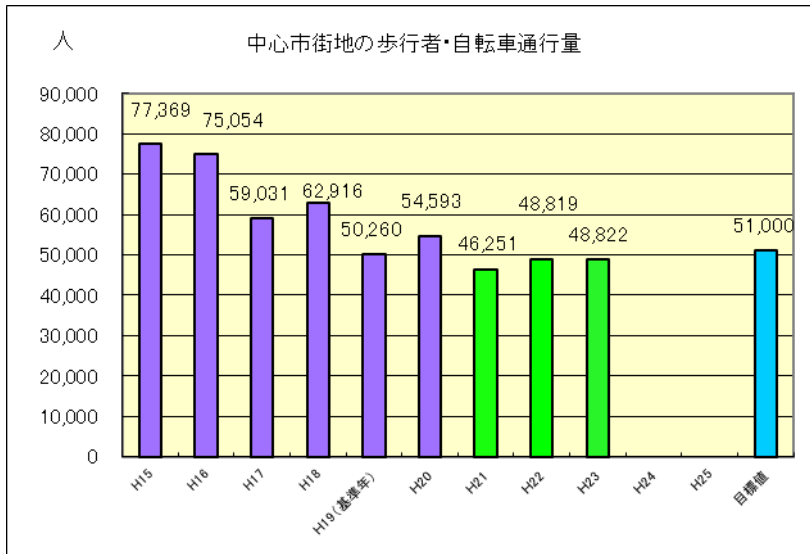
大通三丁目地区再開発ビル建設事業(クロステラス盛岡)は平成 21 年 10 月に完了し、来店者数は計画で想定していた 2,500 人/日を超えているが、小売販売額においては、市全域での小売販売額の低下もあり、計画で想定した効果の達成までには至っていない状況である。また、「バスセンター周辺地区再整備事業」は、景気の低迷やマンション需要の低下による採算性などから、当初想定していた居住機能の導入を見送り、事業規模を縮小する方向で見直しを行っており、「中ノ橋通一丁目プロジェクト」は、実施主体が民事再生法の申請を行っており、その再建計画によっては大幅な計画の見直し等が生じることになるため、計画で想定していたとおりの効果を見込めず、このままでは目標の達成が困難な状況である。

経済情勢が低迷している現状では、新たな施設整備事業の展開は困難であるため、計画に位置付けられた当該目標に資するソフト事業の一層の推進を図っていく。また、平成 23 年には、本市の事業として個人住宅改良支援商品券発行事業を行い、住宅のリフォームを行った市民に対して市内で利用可能な商品券を発行することで、中心市街地を含む市内の消費額の増加を図っていくほか、平成 19 年に放映されたNHK連続テレビ小説「どんど晴れ」の続編放映の決定や平成 24 年に予定されている岩手県を対象としたJRデスティネーションキャンペーンなどの好機を的確に捉えた追加事業を検討・実施し、観光消費額の増加を図っていく。

II. 目標毎のフォローアップ結果「賑わいあふれる中心市街地」

「中心市街地の歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P73～P78 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	50,260 (基準年値)
H20	54,593
H21	46,251
H22	48,819
H23	48,822 (参考値)
H24	
H25	
H25	51,000 (目標値)

※調査方法；歩行者・自転車通行量調査（毎年度3月に実施）

※調査月；平成23年3月実施，4月取りまとめ

※調査主体；盛岡まちづくり㈱

※調査対象；歩行者及び自転車通行者，平日及び休日の2日間8地点（数値は加重平均）

※平成23年は，東日本大震災の発生により3月中の調査ができず，4月に調査を行ったため参考値とした。

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 歴史文化施設整備事業（高次都市施設と地域創造支援事業の合築施設）（盛岡市）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	旧岩手県立図書館を活用し，歴史文化展示機能，文化観光交流機能市民活動支援機能等を有する歴史文化施設を整備。
事業効果又は進捗状況	年次計画どおり着実に事業を実施しており，平成22年3月に建築工事が終了。平成23年7月の開館に向け，現在，展示物や情報システムの製作が行われており，開館後は218人/日の通行量増加を見込んでいる。

②. 大通三丁目地区再開発ビル建設事業（三田農林株式会社）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	従前平面駐車場であった区域に，1,2階を商業施設，3～5階を自走式立体駐車場とした，郊外型と異なる周辺への回遊性が高い施設を整備。
事業効果又は進捗状況	平成21年10月にクロステラス盛岡としてオープン。計画で想定していた入店者数(2,500人/日)を超える集客があり，周辺の歩行者・自転車通行量が2,826人増加(計画200人)するなどの効果が発現している。

③. 中ノ橋通一丁目プロジェクト（株式会社中三）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	老朽化した既存の百貨店を建て替え，商業施設と居住施設を配した

	複合ビルを整備。
事業効果又は進捗状況	昨年度は、専門家の助言を受けながら事業内容の見直しを行い、既存建物を有効活用する方向での事業化を検討した。本年度、その一環として9月には4階の一角に市の子育て支援施設が設置され、平成23年3月には7階に経済産業省の平成22年度地域商業活性化事業費補助金を活用したレンタルブースが設けられる予定だったが、実施主体の民事再生法の申請により、事業内容の大幅な見直しが見込まれる。

④. 公共交通移動円滑化設備整備費補助事業（バス事業者）

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	バリアフリー低床バスの導入により、人に優しく、利用しやすい公共交通に転換を図り、「暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成」の実現を目指す事業。
事業効果又は進捗状況	平成20年度から24年度までの間、年1台を導入する計画としていたが、平成20～22年度までは未導入。 当該事業と公共交通利用促進関連事業を合わせ、4,188人/日の増加を見込んでいる。

⑤. 盛岡表参道・暮らしと賑わい再生事業（宮城開発株）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	民間による再開発事業。現在、平面駐車場である事業地に立体駐車場とマンションを一体的に整備し、立体駐車場では肴町商店街との連携による情報発信設備を導入し、マンション1階には自由通路や広場、商業施設を設置するなど地域の賑わいを創出する事業。
事業効果又は進捗状況	立体駐車場の実施主体の都合により事業内容の見直しを行っていたが、立体駐車場の整備は見送られ、マンション建設のみの事業となる見込みである。なお、この場合でも居住人口の増加による歩行者・自転車通行量の増加を見込んでいる。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

「大通三丁目地区再開発ビル建設事業(クロステラス盛岡)」は平成21年10月に完了し、来店者数は、計画で想定していた2,500人/日を超えており、同年6月に完了した「盛岡駅東西自由通路整備事業」の効果と併せ、周辺の歩行者自転車通行量は、2,826人(計画200人)増加している。

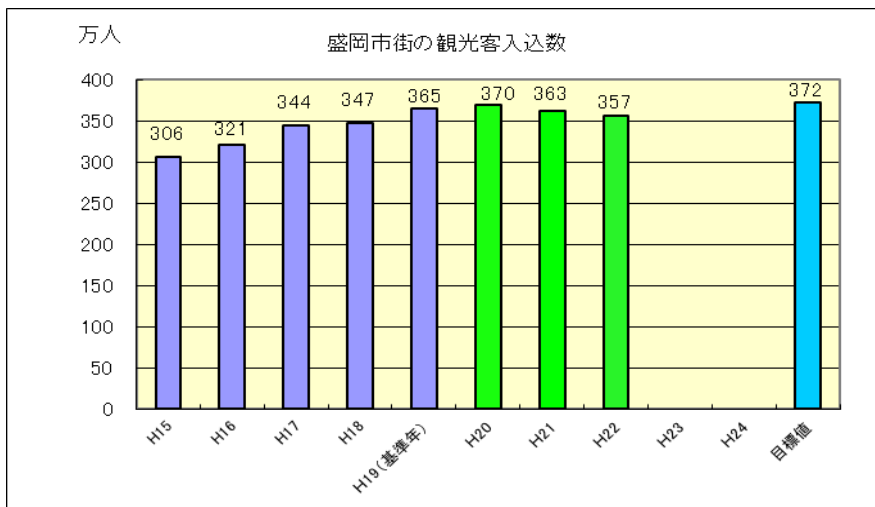
「中ノ橋通一丁目プロジェクト」は、平成20年から事業が行われる予定となっていたが、近年の経済情勢の変化等により事業内容の見直しを行い、既存建物を有効活用する方向で検討が進められ、建物の有効活用の一環として、平成21年9月、4階の一角に市の子育て支援施設「にっこ」が設置され、1か月で約2,000人の親子連れが利用していた。また、平成23年3月には、7階にレンタルブースが整備され、商店街や市民のイベントや新規創業による新たな来街者が見込まれていたが、実施主体が民事再生法の申請を行っており、事業の大幅な見直し等が想定される。

しかし、平成22年、23年の周辺の通行量の比較では、マイナス502人の減少に留まっており、可能な限り当該事業の推進を支援していくほか、その他の当該目標指標値に寄与する事業を確実に推進していくことで目標達成は可能であると見込まれる。

II. 目標毎のフォローアップ結果「訪れたいくなる中心市街地」

「盛岡市街への観光客入込数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P81 参照

1. 調査結果の推移



年	(万人)
H19	365 (基準年値)
H20	370
H21	363
H22	357
H23	
H24	
H24	372 (目標値)

※調査方法；市街地の宿泊施設や高速道路，バス，鉄道の利用者の調査

※調査月；3月（前年分（1月～12月））

※調査主体；宿泊施設や交通機関からの回答を盛岡市が集計

※調査対象；市街地宿泊施設，市内及び近郊高速インターチェンジ3地点，盛岡バスセンター及びJR盛岡駅

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 歴史文化施設整備事業（高次都市施設と地域創造支援事業の合築）（盛岡市）

事業完了時期	【未】平成 23 年度
事業概要	旧岩手県立図書館を活用し，歴史文化展示機能，文化観光交流機能市民活動支援機能等を有する歴史文化施設を整備。
事業効果又は進捗状況	年次計画どおり着実に事業を実施しており，平成 22 年 3 月に建築工事が終了。平成 23 年 7 月の開館に向け，現在，展示物や情報システムの製作が行われており，開館後は 114,000 人/年の観光客の入込を見込んでいる。

②. 盛岡ブランド推進計画の実施（盛岡ブランド推進戦略会議）

事業完了時期	【実施中】平成 26 年度
事業概要	盛岡がもっている有形無形の財産(価値)を育み活かす地域ブランドづくりを行うとともに，イベント等により効果的に情報発信し，「暮らしたい」，「訪れたい」などと選ばれるまちとしていく事業。
事業効果又は進捗状況	まちなみ景観プロジェクトなど 4 事業を着実に実施しており，年間 1 万人の観光客の増加を見込んでいる。

③. 「映画の街盛岡」推進事業（盛岡市）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	行政，市民及び関係団体などが連携し，路地小路ネーミングやミニシアターなどを実施し，「映画の街盛岡」の情報発信を行う。

事業効果又は進捗状況	シネマストリートギャラリーや映画館通りのマップの作成、映画祭開催事業と連携した名作映画会の開催、素敵なまちの映画会の開催など、着実に事業を実施しており、映画祭開催事業と合わせ年間 3,300 人の観光客増加を見込んでいる。
------------	---

④. 市（いち）の開催（各実行委員会ほか）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	材木町・盛岡駅周辺地区・紺屋町・中ノ橋通などで山菜・魚介類・花卉・アンチックなどの市を開催。
事業効果又は進捗状況	材木町よ市（4 月～11 月の土曜日）、北の民謡市場（毎週水・金曜日）、奥州懐道紺屋町アンチック市（4 月～11 月第3日曜日）、葺出町花の市（4 月～12 月の土曜日）などが定期的に開催されており、当該事業を含めたイベント全体で年間 20,850 人の観光客増加を見込んでいる。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

平成 21, 22 年の観光客入込数は、対前年比マイナスとなっているが、盛岡ブランド推進計画や盛岡城跡公園関連イベント、「映画の街盛岡」・映画祭、商店街イベントなどを着実に実施しており、平成 22 年 8 月 1 日から 4 日にかけて行われた「さんさ踊り」には、昨年度を 12 万人上回る過去最高の 135 万 2 千人が訪れている。また、平成 23 年 7 月には、年間 11 万 4 千人の観光客の来訪を想定している、歴史文化施設整備事業が完了し、平成 23 年にはNHK連続テレビ小説「どんと晴れ」の続編放映があり、平成 24 年には岩手県を対象としたJRのデスティネーションキャンペーンが予定されていることから、更なる観光客の増加が見込まれる。

3月 11 日に発生した東日本大震災の影響で鉄道等の交通機関の復旧状況が懸念されるが、引き続き計画に取り組むことで目標達成は可能であると見込まれる。